

第1回苧田町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年5月17日(火)
開会 19:00 閉会 20:00

2 場 所 苧田町役場4階401会議室

3 出席者 苧田町長 吉廣 啓子
苧田町教育委員会
教育委員長 矢鳴 ミツ子
教育委員 石邊 節雄
教育委員 尾形 由起子
教育長 森田 耕治
事務局関係
教育総務課長 恵良 四雄
生涯学習課長 竹田 賢治
教育総務課次長 鱒淵 照子
生涯学習課副課長 小野 剛史
教育総務課係長 崎平 美加
教育総務課 佐々木 一也

4 協議・調整事項
教育方針について

5 議事の概要

◇開会

崎平係長

ただいまから平成28年度第1回総合教育会議を始めさせていただきます。初めに、町長よりご挨拶をお願い致します。

◇あいさつ

吉廣町長

皆さんこんばんは。大変お忙しい、しかもお疲れのところをお集まりいただきましてありがとうございます。平成28年度の予算案は否決をされてしまいました。このため、臨時議会を開催予定です。まだ日付は決まっていますが、開催予定の臨時議会で再度平成28年度予算案を上程したいと考えております。現在は暫定予算ということで動いているところでございます。

また、それと同時に前回にも少しお話しした町の公共施設のあり方です。効率的・効果的な施設のあり方について見直す時期にきているということで、私たちも知恵を絞ってやっていかないといけない状況です。とりわけ公共施設を多く所管しております教育委員会でございますので、公共施設のあり方について協議・調整が今後必要となってきます。是非忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。よろしくご協力のほどお願いします。

崎平係長

次に教育委員会を代表いたしまして、矢鳴委員長にご挨拶をお願い致します。

矢鳴委員長

平成28年度、この5月の半ばという時期に総合教育会議が開催されまして、協議・調整という場をいただきましたこと、非常に厳しい状況の中ではありますが、これからの私どもの活動の一つでも弾みになっていくものができていけばというように願っているところです。子ども達が安心して勉強したり遊んだりできるような学校づくり、また、町民の皆様のニーズに工夫してお応えするような活動づくり、そのようなことに少しでも資することができるように、この会議を活かしていけることを願っているところでございます。どうぞよろしくお願い致します。

◇協議・調整事項

崎平係長

それでは、協議・調整事項の教育方針について（1）平成28年度予算編成方針につきまして、町長よりお願い致します。

吉廣町長

予算の編成方針については、「平成28年第1回議会定例会において、平成28年度苅田町一般会計予算及び苅田町土地区画整理事業特別会計予算が否決されたため、暫定予算を編成し、3月臨時会において可決されたところである。暫定予算は、4月から6月末までに必要な義務的経費や緊急に対応しなければならない経費を基本としており、このままでは町民生活への影響が懸念されることから、速やかに本予算の編成を行う必要がある。今回の予算編成にあたっては、昨年11月に示した平成28年度予算編成方針を基本にしつつ、議会からの指摘事項について、再度、事業の必要性や積算根拠の精査など再検討した上で要求すること。」となっておりますが、議会との調整の中で、3月議会に出しました当初予算案を大きく見直す、変更することはしないほうが良いのではないかとということで、ほとんど当初予算案の通りとしてはどうかということになっております。

崎平係長

予算編成方針につきまして、ご意見ご質問等がございましたらお願い致します。

石邊委員

大きく変更しないで通るのなら何故反対したのか。本予算を否決するというのは大変なことです。それを一つも変えないでそのまま出そうという考えが少しも分からない。

吉廣町長

議会の意向として反対の大きな理由は、苧田町土地区画整理事業は苧田町の将来を展望するときに非常に大事な事業であり、一日も早く進めるべきなのに、町が確保した予算が少なかったことです。今回は、その土地区画整理事業の予算を増額するということで見直していただきたいという議会からの要望です。

石邊委員

どれぐらい増額するのですか。

吉廣町長

2億円です。

石邊委員

私は、町民の感覚と町長の感覚が違うから否決されたと考えおり、教育委員として言わせていただきたい。例えば、港まつりや花火大会をやめることは、子どものふるさとに対する思い出をなくすことになる。花火大会を家族や友達と見に行ったり、縁日に行ってお菓子を皆で食べたりといったことがふるさとの思い出なのに、その思い出になるものを全くゼロにするような予算を通すほうが本来は違うと思う。子どもに対して思い出一つないふるさとを作って、苧田町がふるさとになる訳がない。苧田町で盆踊りも何もない。皆で、はし巻きやかき氷を食べたとかいうことが将来的には思い出になってくる。予算要求を修正するならそここのところも少し残してもらいたいという気がする。住みやすく明るい町、楽しい町を作る。そのために、あなたたちは子どもに思い出を残してあげる。それを私たち教育委員の責務として、はっきり町長に言っておきたいと思います。

吉廣町長

石邊委員のおっしゃることは多くの町民の声だろうということは、私も承知をしております。ただ、今のこういう状況の中で、どのイベントを残すか廃止するか、どこを助成するかしないか、ということはとても難しいので、一律的にこういうことになってしまっています。

また、港まつりについては、民意主導で考えましょうという形で話し合いをさせていただいているところですので、より良い形で実施できるように私も努力をしていきたい

と思っているのですが、石邊委員がおっしゃったことはもっともだと私も受け止めて、今後やっていきたいと思っています。

石邊委員

町長がこういう町を作りたいという明確な意志を持ってリーダーシップを取るのが町長の仕事で、それが無いのは駄目だと思いますし、明確な責任を自分が取ることが町長の資格だと思います。

パンジープラザだって今からどれだけお金がかかるか分からない。だからそういった施設を町長がリーダーシップをとって、こういう町を作るんだという意志をもって進めていかないといけないと思います。子どもの思い出とかそういうものに対する保障をするのが教育委員の仕事だと思っています。町長が自分の明確な意志、責任、ビジョンを持って予算を立ててもらいたい。

吉廣町長

今のご意見謹んで受け賜っておきます。

尾形委員

町長に私たちが希望を託しているのは教育で、子ども達がここに生み育てられると良い人材が育っていく。そういうことをとても大事にしている町長だということで、非常に希望を託しているのですが、やはり本当に学力が低迷したままであるとか、今までは荻田町に住むと音楽などの専科の先生がいる。そういう先生がいることによって芽が開く子ども達も出てきていたのではないかなと思われるような、大事なところがなくなっていく中で、石邊委員がおっしゃるように、将来何が残せるのかなというのは一番疑問です。ですから2億の中の何百万かを教育の方に残していけるような手腕を發揮していただきたいと思っています。

吉廣町長

私としては予算が厳しい中でも、教育、福祉については出来るだけ充実させていきたい。特に教育に絡んだ子育て等は大事にしていきたいと思っています。しかし、議会の皆様のご意見も町民の代表ですから、拝聴しないとイケないというのも事実だと思っています。

石邊委員

議会の皆様は教育にお金をかけないでよいと言っているのですか。

吉廣町長

今の予算の中でこれ以上の予算をつけるのは厳しいと議員さんたちも思っらっしゃる。

石邊委員

子ども達に何を残せるのか。本予算を否決されたことに対して、町長はもっと真摯に受け止めないといけないと私は思います。

崎平係長

引き続きまして教育委員会の施設について吉廣町長からお願いします。

吉廣町長

教育委員会の所管施設については、老朽化が進んできているという現状があります。今、各施設について調査をし、修理をするなり廃止をするなり計画的にしていけないといけないのではないかと。今後、財政面だけでなく教育的な面も踏まえながら、調整をしていきたいと考えているところでございます。

例えば図書館を例にあげますと、今の荻田町の図書館サービスは決して悪いわけではありません。しかし、実際に効率的・効果的かという点、図書館費もかなりかかっているというのも事実です。荻田町程度の規模の自治体で本館を入れて4館あるところは他ではありません。本を揃えるにしても、本館一つだったら一冊で済むところが、4館ということで同時に4冊揃えるというような、本の購入代だけでもかなり必要になってくる。色々な意味で荻田町の自治体規模でどういうのが適切なのか、どういう施設が必要なのかということまで今後見据えながらやっていけないといけない。施設の統廃合とかも考えていけないといけない。施設の統廃合は私の教育委員長時代からの課題なのですが、片島小と白川小は100人の人数を割って60人の生徒数になっているという中で、抜本的な対策を考えないといけない。ただ単に統合するということではなく、まず地域の皆様のご理解が一番大事ですが、校舎の今後の建て方とか、例えば小中一貫の教育システムがあちこちで取り入れられています、そういうことも含めモデル的な教育のあり方・校舎とかそういったことも考えながらより良い教育に繋がるようにやっていかないと。子ども達にも良く、町にとっても良いということ何か考えないといけないのかなと。色々な視点から公共施設について教育委員会施設関係について見直しをしていけないといけない。特に給食センターの老朽化に関しては、子どもの食を預かるということからも今後どうするのか。施設のあり方を皆様とともに考えて行きたいと思っております。

崎平係長

教育委員会の所管施設について、ご意見・ご質問等はございませんか。

矢鳴委員長

現在色々な審議会や委員会等が開催されていると思うのですが、そういう中ですでに検討されているようなことは、今お話になった部分で何かございますか。

吉廣町長

今すぐにどうこうという話にはなっていません。今はすべて町内の公共施設について調査が入っています。それを整理して、一括して今後の計画を立てようとしています。今一番できることとしては図書館のもう少し効率的な運用は出来ないかということは話題に出ているところです。

森田教育長

図書館の問題も色々あるのですが、住民が便利に思う図書館とかはある程度非効率でも私は良いのではないかなと思います。町としては効率的ではないかもしれないがその住民の満足度が高ければ、あんまり財政面ということにとらわれずそういう面でも考えていただければと思います。

吉廣町長

確かにそうなんです。私もお金のことを考えなければ皆様が望むことを何でもしていけたら良いと思うのですが。そこは財政と効率的な使い方とのバランスだろうと思っています。

石邊委員

行政というのは非効率なのだから、儲かるとか儲からないとかではない。教育長が言われた、赤字でないとダメな部分もいっぱいあるわけで、そのために行政があるのだから。行政というのは赤字で当たり前なのだから、どういう赤字を出すかですよ。きちんとした将来に残る教育とかそういうものに対する投資というのを減らしていくというのは、子どもの財産をなくします。そして子どもに対する思い出というのがなくなったふるさとというのは消滅しますよ。

吉廣町長

とりわけ教育という分野は、損得の分野ではないです。しかし町の人材育成という面では一番大きな役目を担っているわけですから、石邊委員がおっしゃる通りだと私も思います。

石邊委員

町長として町のために自分の思うようにしてくださいよ。財政が悪いなら抜本的に変えることを考えないとダメですよ。

尾形委員

図書館でも本来の機能のことだけを考えると、一箇所とかということになると思う。しかし、文化の拠点なのでそこにお年寄りの居場所を併せて考えると、何らかのアイデアが出るような仕組みがいます。4館は費用がかさむとかということだけ

では、少し時代遅れのような気がします。せつかく場があるのをどう利用すると今からの少子高齢化に役に立つのかという視点で考えていくと良いのかなと思います。なくなると文化の拠点がなくなる。

石邊委員

行政というのは非効率であるから行政なんですよ。効率的なら民間の業者が出てくるのだから。行政というのは基本的に非効率で儲からないものです。だから税金を取って運営をしている。

尾形委員

武雄市みたいにするとすごく費用対効果が生まれる。

吉廣町長

行政をおこなっていく上では、身の丈にあったということを考えていかないと。今まではどちらかというところ、荻田町の規模としては少し大きく、また色々なゆとりのある施策をとってきたということが一つにもなっていると思う。だからその辺りをもう一度見直し、荻田町は不交付団体ですから自分たちの税収だけでやっていかないといけないし、大変そこが難しいところです。どの規模の財政運営が出来るのかというのをもう少し見ていかないと。それを見直すのが遅すぎたのではないかと思います。

石邊委員

やるなら抜本的にしないと駄目、町民プールも民間に委ねてみてもいいと思う。どこかで縮小をして、切るものは切らないといけないと思います。

矢鳴委員長

何かそういう色々な方々の知恵を出して頂くような審議会とか委員会が欲しいですね。

石邊委員

町長が自分でこういう町を作りたいというビジョンを持って引っ張っていくのが町長の仕事です。町長がこうしたいけどどうかとやっていくのが政治であって、それがリーダーシップだと思います。

尾形委員

図書館やプールについては、中だけで考えても知恵には限界があるわけです。だから町長としてはそこを文化の拠点として残すとか、一言ビジョンをおっしゃれば後はどうするかというのは専門家を交えたところの話ですよ。お金も横目で見ながら改善は出てくると思いますけど。それを調整するのが役場の職員の役割ではないかなと思います。

石邊委員

学校の統廃合も先ほど白川と片島を言われていたけど、与原小学校があれだけ大きくて片島小学校があれだけ小さいというのはこれだけでおかしな話で、バランスが取れていない。

吉廣町長

学校に関しては地元の方の思い入れも強いですから、中々ご理解頂くのも難しい。10年以上前から統廃合については、地元の方と実は私も話し合いをしてきたし、与原校区の皆様とか片島・白川校区の皆様と夜に何回か話し合いに出て行きました。そして理解を求めるように言ったのですがなかなか難しい状況でした。

尾形委員

課題はもう明確なので、それぞれをどう手をつけるかビジョンを出していただきたい。

石邊委員

こうしたいと決めてから問うのが町長のリーダーシップの資格ですよ。

崎平係長

それでは教育委員会の所管施設についてはご意見を頂いたということで、よろしいでしょうか。

一同

はい。

崎平係長

他に本日の協議・調整事項以外に何かご意見ご質問等ございますか。

一同

ありません。

◇開会

崎平係長

以上をもちまして第1回総合教育会議を終了致します。本日はどうもありがとうございました。

一同

ありがとうございました。